

ヒサマツミドリシジミ

Chrysozephyrus hisamatsusanus hisamatsusanus

兵庫県：C

環境省：－

種の概要

前翅長19～21mm程度。翅の表面は♂では金属光沢をもった黄緑色、♀では黒色で、前翅に橙色と青色の斑紋を有することが多い。裏面は濃褐色で、後翅には尾状突起があり、V字形の白色条を備える。山地の常緑広葉樹林に生息し、幼虫はウラジログシなどを食べる。年1化性で、成虫は6月～7月に出現する。



写真提供：刈田悟史

国内分布

本州、四国、九州

県内分布記録

神河町、宍粟市、豊岡市、養父市、朝来市、香美町、新温泉町

選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
	○		○		

特記事項

県中北部を中心に旧21市町の52箇所の記録があるが、うち34箇所は1970～80年代を中心とした採卵による記録で、現状は不明。県内には食餌植物であるウラジログシが広く分布しているが、植栽木の成長などで生息環境の縮小と悪化が進んでいる。

保護上の留意点